

令和3年産 麦類技術情報 第6号

令和3年6月16日

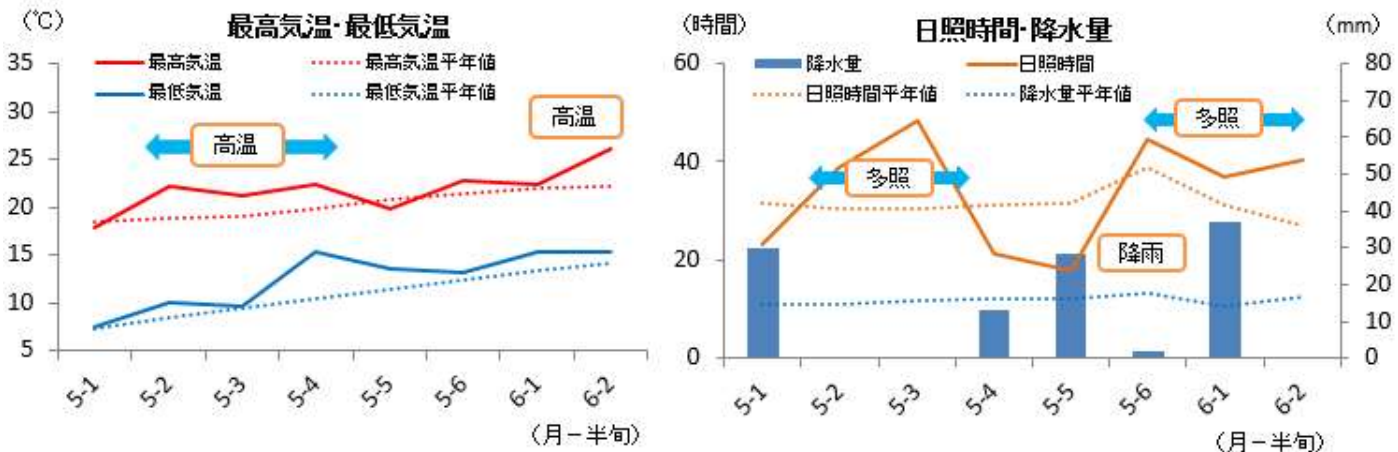
宮城県美里農業改良普及センター

TEL 0229-32-3115 FAX 0229-32-2225

URL <http://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>



1 気象経過（5月第1半旬～6月第2半旬）



2 生育概況

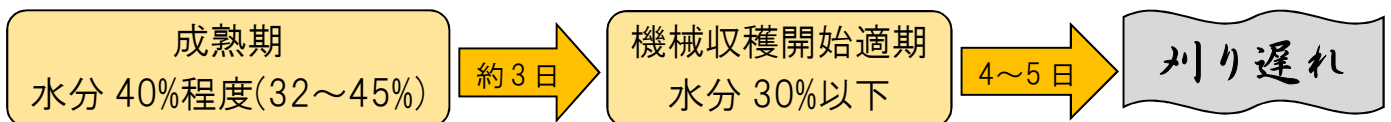
5月末から続く好天により、登熟が大幅に早まっており、大麦の収穫作業が始まっています。

小麦の穂水分測定の結果は、昨年より1日程度早く、早いほ場で6月14日、平均的なほ場でも6月17～20日頃には成熟期に達する見込みです。

3 今後の管理について

◆成熟期と刈取適期について

麦類は、早刈りでは選別不良や損傷粒の発生、刈り遅れでは倒伏や穂切れによる収量損失や赤かび粒や穂発芽粒、低アミロ麦などが増加して品質低下する恐れが大きくなります。刈取作業の準備を早急に仕上げるとともに、ほ場ごとの登熟状況を確認して適期収穫に努めましょう。



◆赤かび病について

本年は、開花期以降に赤かび病の感染に好適な気象条件となり、広域的に赤かび病の発生が見られています。農産物検査規格での赤かび粒混入限度は「0.0%」と厳しいため、収穫前にはほ場ごとの発生状況を確認し、必要に応じて刈分等を検討しましょう。また、赤かび病のカビ毒(DON)については、刈り遅れで含有濃度が高まるとされており、発生ほ場では、より一層の適期収穫に努めましょう。

◇◇◇農薬危害防止運動実施中（6月1日～8月31日）◇◇◇
◇◇◇農作業安全確認運動実施中（4月1日～6月30日）◇◇◇